

小学校5年総合的な学習の時間における 自己研究課題設定の指導の工夫

—自分が撮影した環境写真のウェビングを通して—

情報教育・ICT活用班 岸 利之（小学校教諭）

総合的な学習の時間における課題

総合的な学習の時間における
個人研究が進まない児童がいる

地球規模の環境問題を、
身近な視点からより具体的
に捉えさせたい。

課題を解決するために

環境問題をテーマとする課題解決学習で、児童自ら撮影した写真をウェビングする
学習活動を取り入れ、環境問題をより具体的に捉えさせることにより、自己研究課題
を明確に設定させる。

具体的な取組

身近な環境問題に関わる写真を児童自ら
デジカメで撮って集めてみる

自分たちが集めた写真をウェビングし
環境問題全体のイメージマップをつくる

自動車が多すぎるの
も温暖化の原因だけ
ど、低排出ガス車も
増えてるんだね。

牛乳パックのリサイ
クルは森林破壊
を防ぐのにもつな
がると思うよ！

町中にはゴミがいく
つもあったけど、そ
れが集まると山の
よになっちゃうの
かな？



児童がウェビングにより作成した環境問題のイメージマップ



児童のウェビングの様子
(活発に意見交換できました)

児童が実際に設定 した研究課題

- ・砂漠化を防ぐために行われているボランティア活動について
- ・地球温暖化を防ぐために私たちにできることはなんだろう？
- ・絶滅危惧種を守るための壁新聞作り
- ・水を汚さない方法（海洋汚染を防ぐために）

児童の感想

イメージマップを作った感想

- ・様々な問題に複雑につながっているのが分かった。
- ・解決しなければならない問題がたくさんあったのでとても驚いた。

成果と課題

- 児童は自分たちの身の回りにある環境問題やエコ活動を撮影する活動を通して、身近にある様々な環境問題に気づくことができた。
- 児童が環境写真をウェビングしてイメージマップを作ることで、様々な問題が相互に関わっていることや環境への具体的な取り組みについてつかむことができた。その結果、身近な視点で自己研究課題を設定することができた。
- グループごとにウェビングを行ったが、できれば先に個人でウェビングをしてからグループでのウェビングに取り組む方がより学習が深まると感じた。